

増量酢酸ビニル系樹脂接着剤の接着力試験

山 田 式 典

1. 目 的

価格高騰を続けている酢酸ビニル系接着剤の製品単価への軽減と、増量による接着力への影響をみるために、増量剤として小麦粉と尿素樹脂系接着剤の増量試験において好結果を示した タイロシル の2種を使用し、増量酢酸ビニル系接着剤の接着強度試験を行ったものである。

2. 概 要

接着剤重量に対し、小麦粉、タイロシル、ともに、増量割合、10%、20%の条件で

増量し、ラワン材に対して、平行滑脱式によるせん断試験を行い結果を得た。

3. 成 果

酢酸ビニル樹脂の接着強度に対し、小麦粉増量の場合、増量条件2条件とも2割強の接着力低下を示しているのに対し、タイロシルは、ほとんど同程度の接着強度を有していることから増量剤として充分使用に耐えるものと考え、タイロシル特有色による暗灰色の接着剤への着色が用途による規制が問題のようである。

木材の耐久性に関する研究 (I)

山 田 式 典

1. 目 的

木材防腐防蟻剤で処理した木材と未処理素材とを野外に杭打ちし、それらの腐朽、蟻害の経過の観察と薬剤の防腐防蟻効力について試験するものである。

2. 概 要

供試材として、スギ、ヒノキ、ベイツガの3樹種に対し、CCA加圧注入法で処理したものと素材の形状40×40×500mmの試験材を地上部10cmを残し地中に埋設するものとし本県を中心に、宮崎県、沖縄県の一部にわたる21試験地に設置し、5年間を単位

として、毎年無作為に抽出した試験材について、防腐効果については、重量減少率、防蟻効果については、建築研究所の判定規準に従い、薬剤効果の評価を行うものである。

3. 成 果

1年経過時における資料を得た。最終的には5年間の結果を集約して結論づけをおこなう予定であり、諸々の考察は後報にゆづることとする。